

UTCP-L2・
生存学研究センター
合同シンポジウム



University
of Tokyo
UTCP
Center
for
Philosophy

出生をめぐ る知／技術の編成

出生前診断など、「出生」をめぐり今日の展開は、私たちの生命と生存に関する考え方とそれへの取り組みに大きな影響をあたえている。出生をめぐり知と技術の編成について、哲学・倫理学と科学技術史の視点からとらえ、その行く末について語り合う場としたい。

講演者：

宮原優

(文教大学・非常勤講師／立教大学・兼任講師)

渡部麻衣子

(東京大学 IHS・特任助教)

利光恵子

(立命館大学生存学研究センター・客員研究員)

全体コメンテーター：

松原洋子

(立命館大学大学院先端総合学術研究科・教授
(生存学研究センター))

司会：筒井晴香 (東京大学 UTCP)

日時：

2015年2月24日(火) 13:30-18:00

場所：

東京大学駒場キャンパス 18号館
コラボレーションルーム 1

使用言語：日本語 | 入場無料 | 事前登録不要

主催：

東京大学大学院総合文化研究科附属 共生のための国際哲学研究センター (UTCP)
上廣共生哲学寄附研究部門 L2 プロジェクト「共生のための障害の哲学」
立命館大学生存学研究センター